

# 「スタビリティー」 ～あなたのスタビリティーは何のため？～

申11：13～24

私たちはイライラしている時は良い判断に基づく行動をしていく事ができません。それは頭だけが疲れている時も同様です。私たちは一時の状況や感情によって判断し、行動していると不安定な歩みになります。この事はエステル記にも見る事ができます。ときの大臣であったハマンとユダヤ人であったモルデカイとエステルを取った行動に注目していきたいと思えます。ユダヤ人であるモルデカイは信仰者であったため、唯一の神以外には頭を下げる事をしませんでした。それを不服としたハマンはユダヤ人を滅ぼそうと画策しました。そんな時、王妃に選ばれたエステルは3日間の断食後、覚悟を決めて王の元に行きました。この当時、たとえ王妃であっても王の赦しがなくては、王に近づく事はできませんでした。そしてハマンは策略が王の元に明らかにされ、モルデカイを殺そうとした木に自らがかけられてしまいました。ハマンを見ていると、不安定な生き方をしています。自分より立場の上である王や王妃に対する態度や、下の立場であるモルデカイなどに対する態度に大きな違いが見えます。問題が起こった時にどのような態度をとっているのでしょうか。ハマンは問題に対して自分を変化させて生きていました。反対にモルデカイやエステルの行動は、たとえ問題が降りかかってきたとしても、自らの道を歩み通していきました。決して逃げませんでした。私たちは安定した生活を送るためには、自分の心の核を変えないようにいかなければなりません。

(申11：13～24) 安定とは「物事が落ち着いていて、激しい変動のないこと」です。私たちは「心が迷い、横道に逸れて」しまっては安定しているといえません。神が人を創造した時、非常に良いと言われました。人は神よりいくらかおとる存在として創られました。神が普遍であり、安定しているとすれば、人も安定している存在でした。それはなぜでしょうか。(ヤコブ1：5～24) 18節には「父はみこころのままに、真理のこばをもって私たちをお生みになりました」とあります。私たち人間は真理のみこばが元となって生まれたと書かれています。真理のみこばとは聖書です。この聖書に書かれている言葉を通して安定した人として生きていくことができます。私たちの心に御言葉がない時に不安定は存在になってしまいます。ヤコブの手紙は冒頭から試練に会うことについて書かれています。試練とはクリスチャンとしての歩みをしていく時に遭うものです。試練があった時、不安定になってしまうのは意志によって行動しているのではなく、感情によって歩んでいる可能性があります。意志であれば、自分を制御する事ができます。しかし感情で生きていると、その時、その時で違った行動とり、不安定な歩みになってしまいます。私たちが安定して生きて行くために①御言葉を心に刻む。モルデカイやエステルが常に安定していたのは心に揺るがない考え方すなわち聖書のある言葉があったからでした。「あなたがたは、私のこばを心とたましいに刻みつけ……(申11：18)」霊とたましいの部分、たましいとは知性、感情、意志に御言葉を刻む必要があるとモーセは残しています。私たちは聖書を読む時、どのようによんでいるでしょうか。漠然と読めば良いものではありません。聖書には手に結びつけ、記章として額の上に置きなさい、家の門柱と門に書き記しなさいなど書かれています。これは私たちが忘れてしまわないために行う事として書かれているのであって、形骸化し、手に結び付けているから大丈夫ということではありません。私たちは御言葉を行動の基準とし、どの御言葉に基づいて行動しているのかを常に分かりながらしていく必要があります。(申11：23～24) そうすれば、私たちの働きや領域が広がっていくと約束しています。安定して生きていくために②踏み出す(前進) 安定するのは前進する時に必要です。その場にとどまっている場合、不安定でも問題はありません。しかし不安定では横道に逸れてしまう可能性があります。私たちは教会に来て、神の計画の道を知り歩み出しました。歩み出したのであれば、終わりまで進んでいく必要があります。渡り始めたのであれば、渡りきらないといけません。私たちは毎日御言葉によって踏み出していきましょう。安定していくために③恐れによるズボラに注意。ズボラとは「行動・性格がだらしないこと」です。私たちの心にある「やりたくない」という思いによって、行動が乱れてしまわないようにしましょう。人の行動や評価を恐れて乱れてしまっているのであれば、安定した歩みをする事ができません。私たちは試練の時こそ、御言葉によって安定した歩みをしていきましょう。申命記11：24に書かれている言葉はコシユア記1章にも書かれています。それはモーセに語られた約束は次世代のリーダーであるコシユアに引き継がれました。神は安定しています。私たちが御言葉によって安定しているのであれば、次世代も安定しています。反対に今が安定した歩みをしていないと次世代も不安定さが引き継がれてしまいます。今の歩みを安定させていくには御言葉を心に刻んで歩み、神の計画を前進させていきましょう。(要約者：平澤一浩)

～先週を振り返ってみよう！～

☆目標は達成できましたか？

( )

☆一週間を振り返っての感想

◇◇今日のメッセージの感想◇◇

◇◇メッセージを受けて今週すべき事◇◇